

現状維持は後退である



株式会社東恩納組

代表取締役社長 東恩納 惟



今回は、創業62周年を迎え、2020年7月1日付で28歳の若さで社長に就任した、株式会社東恩納組の東恩納 惟 代表取締役社長に就任の感想や、「新生東恩納組」をリードする抱負などについてお話を伺って参りました。

28歳で社長に就任

私は東恩納組に入社するまで、建築に関しては全く専門外でした。大学と大学院では有機化学研究室に所属し、抗炎症薬の合成に携わっており、大学院修了後は積水化学工業(株)で、自動車用フロントガラスの飛散を防止する中間膜に関する基礎研究をしていました。

東恩納組は祖父が創業し父が経営を立て直した会社で、入社前から社員とは交流があり、会社に対する思い入れがありました。研究生生活が続けながらも漠然と数年後には帰郷することを考えていました。兄もいますが会社を継ぐ意思はなく、会長である父が心臓病を患ったのを期に、私が会社を継いで大きくしようという想いが強まり、2019年に入社しました。父は手術も無事成功し元気になりました。

入社当初は統括部長として、社内の様々な部署についての仕事を学び、2020年の7月に、28歳と若いのですが、取締役会で社長を拝命しました。

祖父の政吉も「私の肩には従業員と協力業者、その家族を含めて、何千人もの生活が懸かっている」と言っていたのですが、改めて社長としての責任の重さと、その奥深さを実感しました。

若くして成功や失敗を経験することで、経営者として大きく成長できるのではないかと考えています。若さを生かして、長期的な展望をもった経営というのを意識して参ります。

本業である建設業を柱に据え、他の業態にも目を向ける

私の祖父であり創業者の東恩納政吉は渡嘉敷島出身で、13歳にして集団自決で家族全員を失いました。そこから裸一貫で26歳の時に東恩納組を立ち上げ、建設・土木事業を拡大していった政吉は「カリスマ」という言葉がとても良く似合うと思います。困っている人を放っておけないタイプで、面倒見の良い人だったと聞いています。自社の発展のみならず、沖縄の建設業界の更なる発展のために、建設事業協同組合の立ち上げなどに尽力し、その様々な功績から黄綬褒章を受章しました。

政吉の死去から8年以上経ちますが、建設業界の年上の方とお話させていただく際に、「君のおじいちゃんにはお世話になったよ」と声をかけて下さる方も多く、そのたびに祖父の大きさを実感します。祖父と東恩納組を幼い頃から見ていたので、会社に対する思い入れは昔からありました。



▲創業昭和33年の現場写真

そんな東恩納組ですが、建設業界の長引く不況で一時は経営が傾き、政吉は長男である厚(現会長)に経営健全化を依頼し、翌年亡くなりました。

現会長は元々医師だったのですが、会社経営に全力を尽くすために医師を辞め、経営に専念しました。その結果、弊社は経営状況の劇的な改善を果たし、現在の新生東恩納組に繋がっています。

有り難いことに、会長からは「社長の発想で自由にやりなさい」ということを常に言われています。本業である建設業を柱に据え、それ以外の業態にも目を向けて、沖縄だけに留まるのではなく、九州や本州、アジアなどへの展開ということも、今後考えていくのが私の使命の一つです。

人につくし・自然とともに・社会のために

東恩納組は「人につくし・自然とともに・社会のために」を理念とし、最良な建築物を創ることであり、お客様に十分に満足して頂くことであります。

自然破壊を繰り返した従来の建築業より脱皮し、自然と共生した建築物を創り、大きな利益を出して、社会の発展や福利増進に寄与して参ります。

企業も経営も本質的には「人」につくすことだと思います。「人」には色んな要素があります。お客様も、周辺に住まれている方々も、社員も、協力業者の社員様も、またその家族の方々も、「人」であり、その「人」に対していかに尽くすかが私達の使命ではないかと思っています。

人を守り・心地よく・美しい家造りで明日を築きます。

「建築について」という世界最古の建築書物の中においてウィトルウィウスという古代ローマ時代の建築家は、建築の三大要素を「強・用・美」であると示しました。弊社の建築理念は「人を守り・心地よく・美しい建築物をつくる」というものです。これは会長が東恩納組の立て直しの際につくった理念なのですが、その当時、会長はウィトルウィウスの言葉を知らなかったものの、偶然に一致したとのこと。

しかし、それだけ建築というものの根源は不変なのだと思えます。

「人を守り・心地よく・美しい」建築物をつくっていくこと。2000年の時が過ぎても変わらない、建築の根源的な真理を今後も変わらず追求して参ります。

また、東恩納組は事業で得た利益の一部を、寄付として社会に還元しています。首里城へ1,000万円を寄付したことや、沖縄工業高校や美里工業高校への奨学金給付というのはその一例です。他にも、今年は県外で子供ホスピスを運営するNPO団体へ年120万円の寄付を行う予定であり、交通安全運動や地域清掃ボランティア、AEDの設置など、様々な社会貢献活動を継続的に行っています。

地元沖縄はもちろん、日本全国の皆様に支えてもらって今の我々があるということを強く意識し、社会から必要とされる存在であり続けることを重視しています。

企業理念
人につくし・自然とともに・社会のために

建築理念
人を守り、心地よく、美しい家造りで明日を築きます。

ビジョン
新生東恩納組は、より多くの利益をだし、社員やその家族を物心共に豊かにし、そして、大きく社会に貢献して、日本国を代表する企業になる。

(株) 東恩納組



私達が何かではなく、私達が何をすべきか
人々社会に
必要とされるために
人につくし、自然とともに、社会のために
人を守り、心地よく、美しい
確かな品質の建築物を創る
私達は、
東恩納組です

ロンシャンの礼拝堂
受ける人と暮らし
た平穏な心地で
大きな争いがあつた
あまたの命が奪われ
小さな希望も
失われた礼拝堂
崩壊した建物は
再び新しい建物を
ロンシャンの礼拝堂
私達も
先人の魂の魂に生み出
子供達に何を残すか
平和の争い
それが全て
黄色の大きな屋根と
この礼拝堂を
ヨルダンに何を遺し
たのだろうか
私達も
平和を創る建築家でありたい
東恩納組

0991915774
www.higashiona.co.jp

日々学び続ける

社風に関しては、かなり風通しのよい会社なのではないかと思います。弊社では、現場を代理人1人が担うのではなく、会社全体で担うという意識が徹底されています。

例えば、弊社では毎週水曜日に、全現場の職員を集めてICC（Intensive Construction Conference：集中的な建設の会議）という会議を行います。

ICCの中では各現場代理人がQCDSE（Quality Cost Delivery Safety Environment：品質・コスト・工期・安全・環境）に関して議論を行います。



▲毎週水曜日開催されるICC会議

1人では気付けなかった事も外からの目線で気付くことになり、それが社員の成長に繋がります。

ICCでは、私を初めとする全役員が建築に関する様々なことの講義を行います。基礎的なことから応用的なことまでと様々ですが、その中で職員に「学ぶ」という姿勢を、役員が率先して示しています。資格取得などの一時的な視点だけではなく、「日々学び続ける」という生涯キャリアを意識してもらうことが、人材育成で一番大切なことではないかと私は考えています。

そもそも私は「社員というのは社会から一時的にお預かりしている財産」だと思っています。つまり、人を育て、人を残していくことは企業の社会的責任であり、経営者の責務であると考えています。

謙虚に、しかし卑屈にはならず

弊社では毎週、役員が現場を巡回するのです

が、その中で私は現場職員から改善の相談を受けることも多くなりました。現場で悩んでいることは、ある意味チャンスの宝庫だと考えています。現場が困っていることを解決するというのは当然、業務の改善・効率化に繋がり、職員のモチベーションもあがります。そのため職員からの相談は絶対に否定から入らぬよう、妥当性が微妙なものであってもしっかり社内で検討するようにしています。

また、現場職員は私より年上の方がほとんどで、経験も豊富なプロフェッショナルばかりです。しかし当然、社長として彼らと異なる意見を言うべき時もあります。そんな時は「謙虚に、しかし卑屈にはならず」ということを常に意識しています。

若い社員に対しては年が近いこともあって、ある意味、気兼ねない関係を築けていると思います。若手だけでボーリングをしたり、ダーツで遊んだり（最近は新型コロナの影響でほとんど行えていませんが……）。その中で、それとなく仕事に関するフォローも入れるようにしています。

これらのおかげかは分かりませんが、「社長に付いていきますよ」と言ってくれる社員も多く、胸が熱くなります。そんな社員やその家族、協力業者も含めて、経済的にも精神的にも豊かにできるように、これからも精進したいと思います。

withコロナ、afterコロナを意識した建築

沖縄というのは日本国内においても特異的な環境にあると思います。人口も今後数年は自然増が続き、それはすなわち経済規模の拡大が見込めるということです。物流の拠点としても最適で、アジア各国を繋ぐハブとしての役割を十分に果たせます。また、豊かな自然や文化、歴史を有していることから、ハワイなどの観光地を凌駕するポテンシャルをも秘めています。加えてワーケーションに代表されるような新しいライフスタイルの提供も期待できます。

現在は新型コロナウイルス感染症の影響で、観光業や飲食業をはじめとした県内経済の冷え込みが指摘されていますが、新型コロナウイルス

ス感染症の収束後、如何にこれらの需要を取り込めるかが沖縄経済の勝負所になるはずです。

その際に重要となるのは、withコロナ、afterコロナを意識した建築ではないかと思えます。COVID-19以外にも、新型インフルエンザやSARS、MERSなど、今後もパンデミックが起こる可能性はあり、21世紀は伝染病との戦いになるかもしれません。

そのような世界において、人々との不要な接触を減らす動線、十分な換気、非接触で操作できる設備など様々なことを複合的に考えて、建物や街づくりを整備していくことが必要となります。このような中で建設業の果たすべき役割は非常に大きく、ハード面からコロナ後の沖縄経済を支えていくためにも、建設業界が積極的にメッセージを発していくことが大切だと考えています。

建設現場を、魅力的で人材が集まる場にしていく

ICTやIoTに関しては、我々としても、当然、力を入れていきたいと思えます。弊社も早い段階からタブレット型端末を全社員に配り、現場でクラウドシステムを利用して、業務の改善化、効率化を図ってきました。その中の一つとして、コンピューター上で3Dの建築モデルを構築する技術であるBIM(Building Information Modeling)やCIM(Construction Information Modeling/Management)、ドローン等があります。

BIMやCIMなどの次世代の建築をリードしていく技術に関しては積極的に取り入れていくため、今はいろいろなセミナーに参加し、今期での導入・運用を予定しています。ドローンは既に購入を行い、運用準備に入っています。

これら以外にも、左官用のロボットや建設工事現場の入退場者の顔認識管理ソフトなど、様々な建設用先端技術が現れています。弊社としても時代の流れに取り残されることなく、必要なものには積極的に投資を行うことで、労働環境の改善や労働生産性の改善に努めていきたいと考えています。

そういった地道な取り組みは、労働生産性が

低いと言われる建設現場を、魅力的で人材が集まる場にしていくための、一つの通過点になるのではないかと考えています。

現状維持は後退である

最後に私の座右の銘は「現状維持は後退である」です。ウォルトディズニーさんや松下幸之助さんなどが言ったといわれるのですが、私はこの格言を大学での進化遺伝学の授業で知りました。生物というのは環境が常に変わるため、常に進化し続けなければなりません。

環境が常に変わる中では、自分では現状を維持しているつもりでも、周りが進んでいるため、相対的には自分は後退しています。つまり現状維持するには常に前進しなければならず、周りから一步抜きこんでするためには、それより更に、もう一步、二歩、前進する努力を重ねなければなりません。これは進化遺伝学の授業で習ったのですが、人生や企業や経営などの全てに当てはまるのではないかと凄く感銘を受け、自分への戒めにしてしています。

企業沿革

昭和33年(1958年)	東恩納政吉により東恩納組(個人)として創業
昭和39年(1964年)	建設事業登録建設運輸局長(ホ)第370号 事務所を沖縄県那覇市古波蔵75番地に置く 代表者 東恩納 政吉
昭和48年(1973年)	株式会社東恩納組設立 建設業許可沖縄県知事 許可番号(般)48第216号 代表取締役社長 東恩納 政吉 資本金1,600万円
昭和50年(1975年)	建設業許可沖縄県知事 許可番号(般特-50第216号) 資本金4,720万円に増資
平成元年(1989年)	建設業許可沖縄県知事 許可番号(技-01第216号)
平成8年(1996年)	一般建築士事務所登録沖縄県知事 登録番号(186)-1819
平成13年(2001年)	品質システム国際規格ISO9001取得
平成18年(2008年)	国際規格ISO14001取得
平成27年(2015年)	組織編成により 代表取締役会長 東恩納 厚 就任 代表取締役社長 喜納 義昭 就任
令和2年(2020年)	組織編成により 代表取締役社長 東恩納 惟 就任

東恩納 惟 代表取締役社長 略歴

1992年5月那覇市生まれ

2018年3月に東京大学大学院農学生命科学研究科を終了し、同年4月に積水化学工業に入社

2019年7月に東恩納組に入社

創業62周年

確かな技術をもとに

人と自然が共生できる

夢のある社会を目指します



株式会社

東恩納組

～人につくし・自然とともに・社会のために～

〒901-0242 沖縄県豊見城市字高安 594 番

電話番号:098-850-5734 FAX 番号:098-850-4769

<https://www.higashionna.co.jp/>

